

全国農業



首都圏

2024年(令和6年)

7月19日 金曜日
月4回金曜日発行

清流が生んだクレソン 観光客に加工品も好評 道志村 特産品担い手確保に力

【山梨】県の最東端、神奈川県との県境に位置する道志村。キャンプ場が多く、観光地としても親しまれている。同村は国内有数のクレソン産地としても有名だ。

クレソンは肉料理の添え物に使われる香味野菜で、独特の苦みと辛みが特徴。同村では1977年ごろから栽培がスタートした。横浜市の水源でもある道志川の清らかな水がクレソン栽培に向くとされ、この水の良さを活かそうと村民が注目し

たのがきっかけだ。今では生産量全国トップクラスを誇る。加工品にも力を入れ、「道の駅どろし」では「クレソンちっぶす」や「クレソンうどん」などが人気で、観光客から好評を得ている。

しかし、現在は生産者の高齢化が課題で、村では地域おこし協力隊員の募集などで特産品を守ろうとしている。村産業振興課では「クレソンの魅力を多くの人に知ってもらい、担い手の確保に努力し続ける」と語る。



①道の駅どろしの佐藤勝久さんとクレソン加工品、②村産業振興課の小田秀一さん(右)と谷直樹さん

